

# 大阪教育大学 CLIL実践ワークショップ

イタリアの小学校英語教育の第一人者である、Silvana Rampone氏をお迎えし、小学校英語教科化にむけた専門性向上のための実践的ワークショップを行います。

## 「イタリアのCLILに学ぶ」

シルバナ・ランポーネ氏による  
小学校英語教科化にむけた  
専門性向上のためのワークショップ

2016年5月29日(日)  
大阪教育大学天王寺キャンパス



13:00-13:15 開会挨拶

森田英嗣 (大阪教育大学連合教職実践研究科主任)

〈司会&コーディネーター 柏木賀津子 (大阪教育大学)〉

13:15-14:15

Silvia Minardi氏 ■講演■ (通訳有り)

(イタリアLEND会長 シエナ大学講師)

「イタリアの中学校・高校におけるCLILと教師間連携」

\*LEND: Lingua e nuova didattica (新しい実践的な言語教育を推進する学会)

14:20-17:50

Silvana Rampone氏 ■ワークショップ■ (通訳無し)

(イタリア文部科学省ナショナルトレーニング教員研修指導者)

「CLIL実践ワークショップ」

\*途中休憩 Q&A有り

17:50-17:55 閉会

18:10-19:30

\*情報交換会(有料)を予定  
しています。



### 講師紹介・内容

シルバナ氏は長年イタリアのピエモンテ州ピネロロで小学校教諭を務め、EUにおけるCLILプロジェクト推進・「ヨーロッパの教師連携プラットフォーム」で、eTwinning アンバサダーとして活躍している。毎夏にはイギリスでCLIL集中コースを担当、子どもの協同的な学習を創り、思考スキルを育てる授業の在り方を、EUの教師に体験的な方法で指導している。“Learning a language has to be enjoyable” (英語を学ぶことは楽しいものでなくてはならない)。そして、内容をとおして子どもが発見する文法について教師は理解しているべきである(シルバナ先生談)。このたび小学校英語教科化にむけて、教科の内容である「動物の住みか」「世界の住居」等を英語で行う授業や、子どもへのリタラシー指導の実際を紹介する。

著書『Cross-Curricular Resources For Young Learners』Oxford University Press

\*CLIL (クリル) とは

CLILとはContent and Language Integrated Learning (内容言語統合型学習)の略語で、内容(社会や理科などの教科)・異文化理解などのトピック)と言語(英語)の両方を学ぶ方法です。特徴は、Content (科目やトピック)、Communication (4技能を使って言語コミュニケーションを図る)、Cognition (様々な思考力)、Community・Culture (協学、異文化理解、地球市民意識)の「4つのC」で授業が組み立てられていることです。

●対象者: 学生・院生・留学生・現職教員(小学校・中学校・高等学校および大学教員)・小学校英語を教える先生等

●申込み: 必要(1名前 2所属 3PCアドレス 4開催地-大阪) 1-4を明記して申し込んでください。\*携帯メールは不可参加無料 定員70名 申込先 [shien@cuc.ac.jp](mailto:shien@cuc.ac.jp)(酒井)

●場所: 大阪教育大学天王寺キャンパス 中央館ミレニアムホール

●問い合わせ先: 連合教職実践研究科/外国語教育(柏木賀津子)  
[kashiwag@cc.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:kashiwag@cc.osaka-kyoiku.ac.jp)



参加費: 無料(情報交換会は除く)